



聖像・仏像・彫像

— 柳宗悦が見た「彫刻」

日本民藝館

2023年

6月29日(木)から

9月3日(日)まで



1



2



3

木喰仏や円空仏をはじめ、近世の神仏像には庶民信仰を対象とした素朴な造形を数多く目にすることができます。当館の創設者・柳宗悦（1889-1961）は、大正時代末期に木喰仏を発見したことで知られるように、素朴な彫像が滲める美に早くから目を向けていました。その萌芽は、文芸美術雑誌『白樺』と関わっていた20代から、ロダンを始めとする西洋近代の「彫刻」作品に親しんでいたことに遡ることができます。本展は、当館コレクションを「彫刻」という観点から目を向ける試みです。

民藝運動を通じて取り上げられた品々においても、^{かまど} 囲炉裏や竈の上の梁などから下げる自在鉤や、神社などに奉納される獅子頭や仮面、また鯉形水滴といった朝鮮時代の文房具など、彫刻的な要素を持つ工芸品は多く見られます。雑誌『工藝』第88号（1938年）では、「民間の仏体」が特集され、仏師の手によらない仏像、現在で言う民間仏が積極的に紹介されることになりました。

本展ではこれに加え、朝鮮の石仏、中国の明器など東アジアの彫像、さらには海外諸国の祖霊像や仮面、キリスト教の民間の聖像などを交えて展示します。併せて、柳の長男で工業デザイナーの柳宗理が館長を務めた時代に集めた沖縄の屋根獅子や、アフリカの彫像と仮面など、館蔵の彫刻的な造形を一堂に展示します。



4



5



6



7

〔表面〕地蔵菩薩像 木喰明満
江戸時代 1801年 高69.6cm

1. 屋根獅子（シーサー）
沖縄 20世紀前半-中葉 高38.4cm *柳宗理蒐集
2. 三重塔 江戸時代 18世紀 高46.0cm
3. 神馬 室町時代 16世紀 高71.7cm
4. 恵比須座像 江戸時代 高15.5cm
5. 鳥像 アフリカ・マダガスカル
19-20世紀 高64.3cm *芹沢銈介旧蔵
6. 陶俑 加彩舞樂女子 唐時代 7世紀 24.1cm
7. サントス 聖女像または女性像
アメリカ ニューメキシコ；
18世紀後半-19世紀前半 高52.0cm

記念講演会 みちのく 近世の民間仏

〔講師〕須藤 弘敏（弘前大学名誉教授）

8月26日(土) 18:00-19:30

料金・300円（入館料別、要電話予約）

会場・日本民藝館大展示室

□10:00-17:00（入館は16:30まで） □月曜休館（祝日の場合は開館し、翌日休館） □一般 1,200円
大高生 700円 中小生 200円 □西館公開日（旧柳宗悦邸）・会期中の第2水曜、第2土曜、第3水曜、
第3土曜（開館時間10:00-16:30、入館は16:00まで）※変更が生じる場合がございます □〒153-0041
東京都目黒区駒場4-3-33 □TEL.03-3467-4527 □京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分

<https://www.mingeikan.or.jp/>

日本民藝館

次回展・村田コレクション受贈記念 西洋工芸の美 9月14日(木)～11月23日(木祝)

